

各関係大学長
各関係学部長 殿
各関係機関の長

岩手大学教育学部長
清水茂幸
(公印省略)

教員公募について（依頼）

このたび、本学部では下記の要領により教員を公募します。
つきましては、この旨を関係者に広くお知らせいただきますよう、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 職位 准教授又は講師
(※講師の場合はテニユア・トラック教員となります。)
2. 採用人数 1名
3. 専門分野 芸術実践論関連（声楽・音楽科教育）
4. 担当科目
学部科目：声楽Ⅰ～Ⅳ、声楽演習Ⅰ～Ⅳ、ソルフェージュBI～BII、指揮法、合唱、小学校音楽A、音楽科教育法Ⅱ（分担）、教職実践演習（分担）、基礎ゼミナール、卒業研究
教養教育科目：芸術学、芸術の世界
※教養教育等の全学実施体制を図るため、採用分野を踏まえ、「教養教育科目」から1科目以上を必ず担当していただきます。
大学院（総合科学研究科 総合文化学専攻）科目：アート実践・応用特論（声楽）、アート実践・応用特別演習（声楽）Ⅰ～Ⅲ、アート・マネジメント論（分担）、総合文化学基礎（分担）、岩手文化理解・発信論（分担）、地域文化特論（分担）、特別研究 等
5. 任期
准教授採用の場合：なし（※ただし、65歳となった年度の末日をもって定年退職）
講師採用（テニユア・トラック教員）の場合：5年。ただし、採用から3年経過する日までに中間評価、テニユア・トラック教員としての期間満了日の7ヵ月前までにテニユア審査をそれぞれ行い、准教授に必要とされる目標値を達成したと判断された場合は、テニユア（准教授、任期なし）が付与されます。なお、中間評価において、特に優秀な評価を得た場合には、その時点でテニユア付与の適格性について審議する場合があります。
6. 応募資格
(1) 概ね修士課程修了後15年まで又は博士課程修了後12年までの者。
(2) 修士の学位を有する者、又はこれに準ずる研究業績を有する者。
(3) 大学院（総合科学研究科 総合文化学専攻）において、教育・研究の指導ができる者。
(4) 日本語を第一言語とする者、又はそれと同等の日本語能力を有する者。

(5) 小・中・高等学校における教育実践経験、又は教育研究機関等での勤務経験を有する者が望ましい。

(6) 採用後は、盛岡市又はその近郊に居住できる者。

7. 採用予定日 令和9年4月1日

8. 提出書類

(1) 教員の個人調書

- ・本学の書式による（写真添付。A4判用紙、パソコン使用）。
- ・「学歴」欄には高校卒業以後を記入すること。

(2) 教育研究等業績書

- ・本学の書式による（A4判用紙、パソコン使用）。
- ・著書、学術論文（小中高校等での実務経験者については、実践報告も学術論文の一部に代えることができる）。その他、教育活動、地域・社会・国際交流貢献活動等に分けて年代順に記載すること。
- ・演奏業績については、「教育研究等業績書」の「その他」の欄に、演奏形態（声楽独唱、ソロリサイタル、オペラのキャストとして出演等）ごとに分けて、年代順に記載すること。
- ・なお、各教育研究等業績に番号を付け、年代順に記載し、審査付論文の番号にはアンダーライン、主要研究業績（（3）の説明参照）には番号の冒頭に*印を付けること。

(3) (2)の研究業績のうち、声楽の主要な演奏業績より3編の録音（声楽独唱、ソロリサイタル、オペラのキャストとして出演等、但し、日本語歌唱作品を1点は含むこと）を、CD、DVD又はブルーレイで提出すること。

(4) (2)の研究業績資料（論文、報告書、記事、演奏会のチラシ・プログラム等）を全て提出すること（コピー可）。

(5) その他に、ピアノ、和楽器等、指導可能な分野があれば、(1)の教員の個人調書、(2)の教育研究等業績書に明記すること。

(6) 本学採用後の教育・研究（小中学校の教員養成を含む）に対する抱負（2000字以内・書式自由）。

(7) 「指揮法」の授業シラバス（授業目標、進め方、14回分の内容構成等の案を、A4判用紙1枚にまとめたもの、書式自由）。

(8) (2)の研究業績について、必要に応じて追加して資料等の提出を求める場合がある。

(9) 応募者の業績等の照会先（氏名と連絡先：1名）

※本学所定の教員個人調書・教育研究等業績書の書式は、本学部ホームページからダウンロードして下さい。（Word）『岩手大学教育学部』→『お知らせ』→『教員公募』

(<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/>)

9. 応募締切 令和8年8月21日（金）必着

10. 提出先

応募書類は郵送又はインターネット（e-mail）により受け付けます。

(1) 郵送の場合

封筒に「音楽教育科教員（芸術実践論関連（声楽・音楽科教育））応募書類在中」と朱書きし、以下の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 岩手大学教育学部長 宛

(2) インターネット（e-mail）の場合

応募書類は、それぞれ PDF 形式のファイルとしてメールに添付して、応募先メールアドレスにお送りください。添付ファイルのサイズは 20MB 以内としてください。

なお、メールの件名は「音楽教育科教員（芸術実践論関連（声楽・音楽科教育）応募）」としてください。書類受領後 3 日以内にメール返信をしますので、返信がない場合はお問い合わせください。

書籍などメールに添付できない書類を送る場合には、封筒の表面に「音楽教育科教員（芸術実践論関連（声楽・音楽科教育））応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合の（1）の提出先に書留便（簡易書留も可）で送付してください。

応募先アドレス：afujii@iwate-u.ac.jp

11. 照会先 岩手大学教育学部音楽教育科 藤井 亜紀 E-mail: afujii@iwate-u.ac.jp

12. その他

(1) 研究業績のほか、教育上の能力、社会貢献に関する業績及び大学等の組織運営上の実績等も考慮します。

(2) 速やかに連絡がとれるように、携帯電話番号、電子メールアドレス等があれば「教員の個人調書」に記入してください。

(3) 一次審査（書類選考）を通過した方には模擬授業を含む面接を行います。旅費等は応募者負担となりますので、ご承知おきください。

(4) 提出していただいた書類等は原則返却しませんが、返却を希望される方は、その旨を明記し、着払いの送り状を添付してください。

(5) 応募書類に含まれる個人情報、採用者の選考および採用後の必要手続きに使用するものであり、他の目的では使用しません。

(6) 採用後は教育学部の教員として教育実習関連業務や現職教員の研修に係る業務に従事していただきます。この他、各種の国際交流の事業にも従事していただきます。

(7) 学部専門科目のほか、教養教育科目も担当していただきます。具体的には、採用後、自身の専門分野に関連した科目委員会へ所属し、委員会の所掌する科目を担当することになります。

(8) 教養教育科目の学問知科目をご担当いただく場合は、遠隔授業用オンデマンドコンテンツ及び動画シラバス（概要紹介）を必ず作成していただきます（1 単位（全 7 回）× 2 科目以上）。

(9) 岩手大学はダイバーシティを推進しており、多様な研究者の増加・定着のため、本公募に関し以下の取組を実施しています。

【若手教員採用促進に関する取組】

・最大 100 万円のスタートアップ経費（研究費）の支給

テニュア・トラック教員（講師・助教）に対し、研究費として、採用日から 2 年間分 100 万円を一括支給

【女性教員採用促進に関する取組】

・女性の優先採用（業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合）

・最大 100 万円の定着支援経費（研究費）の支給

本学に赴任する女性教授・准教授に対し、研究費として 50 万円 × 2 年間支給、女性講師・助教に対し、研究費として、採用日から 2 年間分 20 万円を一括支給

・産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合には、選考の過程で考慮（性別不問。ただし、履歴書に取得期間を明記すること）

- ワーク・ライフ・バランスに関する各種支援：

<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/wlb/>

両住まい手当制度、次世代育成支援（出産・育児との両立支援）・介護支援、学内保育スペース等

- 女性研究者のキャリア支援：

<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/womenreserchers/>

研究支援員・補助員配置制度、女性活躍変形バイアウト制度、女性研究者グローバルキャリア支援海外派遣制度等

※文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」を活用した支援を随時実施予定：<https://iwatewomensleadership.iwate-u.ac.jp/>